

## 入選

**廣瀬 愛桜**(ひろせ ありさ) 由木中央小 2年生

作品名:「ちいさなあかちゃん、こんにちは！」

図書:ちいさなあかちゃん、こんにちは！未熟児ってなあに

この本をえらんだ理由は、私もほいくきの中に入っていてイサベルと同じだからです。イサベルは三ヶ月も早く生まれてきたので、ほいくきの中に入っていました。

ほいくきは、赤ちゃんがすごく小さい時にくらすおうちです。早く生まれた赤ちゃんは、体がすぐひえてしまうので、お母さんのおなかの中と同じくらい、あたたかくしないといけません。上手にいきをすることや、ミルクをのむこともできないから、たくさんのコードやチューブが体についています。

私が生まれてすぐの写真にも、コードやチューブがたくさんついていました。お姉ちゃんが生まれてすぐの写真にはありません。ずっとふしぎだなと思っていたけど、この本を読んで理由が分かりました。

ほいくきの中にいた時のことをお父さんとお母さんに聞きました。ミルクをのみ終わったあと、ほいくきにあるまどに手を入れて、ゲップをさせるのがこわかったと言っていました。ミルクをのませるのも大変で、とくに双子の兄は、のみながらつかれてねてしまうから、五十ミリリットルのミルクをのむのに、三十分もかかることがあったそうです。ためしてみたら、一口でのめました。小さな赤ちゃんは、大変だなあと思いました。今ほいくきに入っている赤ちゃんに、「がんばってね！」と言いたいです。